

◎田中光顯翁が色紙を

五・一五海軍將校へ

十二日午前八時五・一五事件海軍側林辯護士
は十青年將校の特に翁のために寄せ書したも
のを携へ青山の光顯翁を訪ねた、翁はこれを
非常に喜び櫻田事變の志士が決行直前に寄せ
書したものの、やうに大切なものだと大満悦で、
早速筆を執つて十將校に次の如き色紙を與へ
た

大空のはるゝをまちて夕立のすぎしことゝ
もかたりかはさむ（執行猶豫となりし四氏に）
花とちり雪ときえにし櫻田のますらたけを
しのぶけふかな（定刑の六氏に）

林辯護士は十三日早朝之を携へて横須賀に至
り十氏に手交する筈

寫眞は

一、十將校の寄せ書と

一、光顯翁の色紙

